

研究課題名	小児てんかん患者に対するラコサミドの単剤効果と副作用の検討
研究の意義・目的	てんかんの新しいお薬であるラコサミドの、初発の小児てんかんに対する効果と副作用について、患者様のデータを用いて解析します。主な目的としては、①どのような背景の患者様により効果が見込めるのか、②より早く内服を開始した患者様の方が効果が高いのかどうか、③安全性と副作用の程度、について検討します。この研究は、どの種類のてんかんの患者様に、どのタイミングでラコサミドを使用するのが最も適切であるかを明らかにすることに役立ちます。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2024年1月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2018年12月から2023年12月までの間に大阪市立大学医学部附属病院通院または入院したてんかん患者。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させていただきます。 診療情報等：【年齢、病歴、てんかん分類、過去の薬剤使用、てんかん発作型分類、ラコサミド使用後の効果、副作用、継続率】
試料・情報の他機関への提供	特定の個人を識別できない形で、共同研究機関聖隷浜松病院てんかん科に頂いた試料・情報を提供します。
この研究を行っている共同研究機関	聖隷浜松病院てんかん科 藤本 礼尚 聖隷浜松病院小児神経科 榎 日出夫、馬場 信平 鳥取大学脳神経小児科 岡西 徹 大分大学 小児科 岡成 和夫 医療法人宝生会 PL 病院 佐久間 悟 北海道大学小児科 白石 秀明 広島市立舟入病院小児科 藤井 裕士 国立病院機構横浜医療センター小児科 本井 宏尚 大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学 佐久間 悟、匹田 典克、矢崎 耕太郎
試料・情報を管理する責任者	聖隷浜松病院てんかん科 藤本 礼尚
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学 (担当者氏名) 佐久間 悟 電話番号：(06) 6645-3816 メールアドレス：ssakuma@msic.med.osaka-cu.ac.jp